

花粉症について

【原因】

花粉症とは、花粉を吸入抗原(原因)とするアレルギー性疾患で、その発生には、その地域におけるその年の空中花粉飛散状況が大きく影響します。本州では、スギ花粉症が有名ですが、北海道では札幌や道南地方にわずかに植樹された人工林があるのみで、その患者もわずかです。北海道では、シラカンバ、イネ科(カモガヤ、オオアワガエリ)、ヨモギ属が花粉症の抗原として代表的であります。また、花粉症の発症に影響する要因としては、住環境の変化、食生活の変化、大気汚染などがあげられ、ディーゼル車の排気ガスが花粉症の感作、発症に関係するという報告もあります。

【症状】

くしゃみ、鼻汁、鼻閉、目のかゆみなどを発作性反復性に繰り返します。また、咽頭掻痒感、咽頭異常感、咳などを伴う場合もあり、喉頭アレルギーと呼ばれています。

【治療】

アレルギー性鼻炎の治療と同様、抗アレルギー剤、抗ヒスタミン剤、局所ステロイド噴霧薬などの薬物療法が中心になります。鼻閉が強い場合にはレーザー手術が有効です。北海道では、比較的軽症で短期間であることが多いため、花粉飛散時期の約2週間前からの抗アレルギー剤の季節前投与のみで症状をほぼコントロールする事が可能です。

【予防・対策】

北海道における花粉の飛散時期は地域により若干異なりますが、シラカンバは4月から5月、カモガヤなどのイネ科は6月から8月、ヨモギは9月くらいです。飛散時期前に病院を受診し、抗アレルギー剤を内服することをお勧めます。花粉防止用マスクも有用です。

【トピックス】

シラカンバ花粉症患者の中に、特定の果物、野菜の摂取のすぐ後に、口腔、咽頭、口唇などのかゆみ、腫脹を引き起こすことがあり、シラカンバ花粉症患者の増加、果物アレルギー患者の増加に伴い最近注目されるようになってきています。まれには、喉頭浮腫や全身的なアナフィラキシーショックを起こすこともあり注意が必要です。